

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立蕨高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒・保護者や地域の期待、学校の状況などの分析を的確に行った上で、今年度「生徒の進路希望を実現する」という明確なメッセージを付け加えて見直しが行われている。生徒の潜在的能力をフルに開花させようという学校の目指す方向が明確に分かりやすく示されている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が行われているか。	学校の取り組むべき方向が中期的な視点から四つの柱として設定されている。学校内外の環境分析などを踏まえ、見直しが行われた目指す学校像の実現に沿った教育活動の指針となる具体的な目標となるよう更に検討することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されている。重点目標を踏まえた取組や達成状況、次年度への課題と改善策が各分掌・学年等で適切に検討・協議されている。企画委員会と各主任との連携や教頭のフォローシップがうまく機能している。今後も教職員一人一人の経験や能力を最大限に生かした組織体制の整備を進めていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	オーストラリアへの派遣プログラムを始めとする多彩な国際交流プログラムや学校内外の留学生との交流会など、評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。「蕨高特別セミナー」「学力向上プロジェクト委員会」などの組織的な取組についても、工夫を重ねて成果が見られている。方策の評価指標については、いつまでにどの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるようより分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、その意図するところを教職員が共通理解し、課題の解決に向けて学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	今年度初めて中間評価が実施され、分掌・学年等も含め学校全体で取組についてのより詳細な検証と情報収集が行われ、アンケートもその時々の問題解決のための質問を追加するなどの的確に行われている。今後も学校関係者の意見やアンケート結果等をより多角的に分析・考察して有効に活用していただきたい。	
特記事項			